

あかまつ 那須大学ニュース

Vol.3 平成13年3月5日 (月) 発行
発行/那須大学 広報委員会

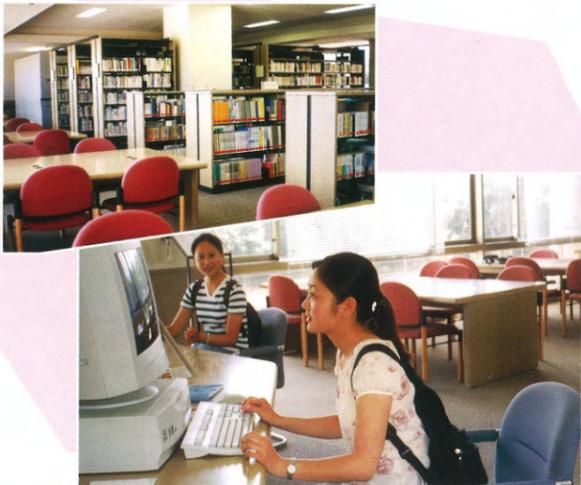
那須大学図書館への いざない



図書館 山崎良子

図書館は知識の宝庫
「知の空間」へ足を運ぼう

那須大学図書館の案内を致しましょう。まず学生証(ＩＤカード)を使って図書館のゲートを入ります。現在約三万冊の図書が所蔵されています。すべて直接手に取って見ることが出来ます(開架式)。カウンターの上には必要図書の所在を確かめるための検索機「OPAC」があります。自分の読みたい本を探してみよう。



借りた本が決まりましたら「ABC」という自動貸出返却機を使い、各自で処理をします。図書館にはこの他に、新聞、雑誌コーナー、参考図書コーナー、そして「オーディオビジュアル(Audio-Visual)コーナー」等があり、英語の勉強のための映画もあります。図書館は知識の宝庫です。ぜひ足を運んでみてください。

私の高校自慢 ③



商業教育の基幹校として、
教育環境も一層充実
福島県立若松商業高等学校
一年生 五十嵐 弘士

私の母校、若松商業高等学校は、福島県会津若松市の旧会津日新館跡地に校舎を構え、創立九十周年を間もなく迎える伝統校です。学校の近くには鶴ヶ城があり、四季折々の風景を楽しむことができる恵まれた環境です。平成十一年度からの改修工事によって新装された校舎や新築の体育館を得たことで、わが母校は県下に誇れる商業教育の基幹校として教育環境も一層充実しました。現在



出典：同校平成11年度卒業記念アルバム

商業科と情報処理科に所属する七百二十名の生徒達が、こうした環境の下で自己実現に向かって勉学と部活動に励んでいます。今後も校訓である「明浄、正直、誠実、剛健」という伝統の精神を保ち、常に新しい光を入れた生き学校であってほしいと願っています。

<http://www.nasu-u.ac.jp/~kume/index.htm>



私のゼミはこんなゼミ ②

「都市や不動産を取り巻く公共政策」
(二年生) (三年生) (卒業研究)



久米 良昭教授

このゼミでは、「都市や不動産を取り巻く公共政策の研究」がメインテーマ。どのような政策も、いいこと(便益)ばかりでなく、わるいこと(費用)が伴います。経済学を分析ツールとして使いながら、都市や地域の将来像をどのようにデザインしたらよいか、

その施策や制度をどうつくればよいか。地方分権、中心市街地活性化など、今日的なトピックスを取り上げながら勉強していきます。現在、二年生のゼミ在籍学生は二十三名。自慢はノリの良さ。コンパもカラオケ大会で盛り上がります。二〇〇〇年九月には、一泊二日のゼミ合宿として、福島県三春町のまちづくり現地見学を実施しました。その様子は、下記ホームページに載せています。アクセスしてね。

サークル紹介 ②



軽音楽

昨年開催された大学祭初日、野外特設ステージにて、ロック系八曲を演奏、日頃の練習成果を披露しました。現在部員は十六名。
「学内で定期的にコンサートを開きたいし、学外でのイベントにも積極的に参加していきたい」とドラムの女性をはじめメンバーはやる気満々。現在、千野根部長の作曲、喜多村副部長の作詞によるオリジナル曲を制作中とのこと。完成が楽しみだ。
軽音楽同好会、どんな個性派バンドに成長していくのか、今後の活躍が期待されます。
最後に、同好会からの伝言を一言「ドラム、ボーカル募集中! (性別不問)」。

「あつたかハート号」 ボランティア活動に参加して

一年生 永山 統啓



昨年五月、私は「あつたかハート号」という名の黒磯のボランティア活動に加わりました。この活動は、身体の不自由な方や高齢者の方など、普段旅行に行けない方達の旅を計画し、楽しんでもらうものです。
運行までに他の準備委員と何度も会合を持ち、旗、切符、パンフレットづくりなどを行いました。十

一月初旬のバス六台での旅は、福島県の昔の宿場町を訪れ、またリಂಗ狩りを楽しむものでした。大勢の参加者に触れ合い、喜んでもらうことができました。帰ってきたからの記録集もつくりました。
経験の乏しい私にはどれも大変で、初めて車イスを押し出した時とても気を遣いました。また自分の非力さも痛感する旅でした。しかし一方で、多くの人の善意でものごとが成り立つことを知り、また達成感もあり、今年も加わろうと思っています。



今後は他の多くの那須大生もいろいろなボランティア活動に参加できるように、大学内に自分達のボランティア活動の窓口を作りたいと考えています。

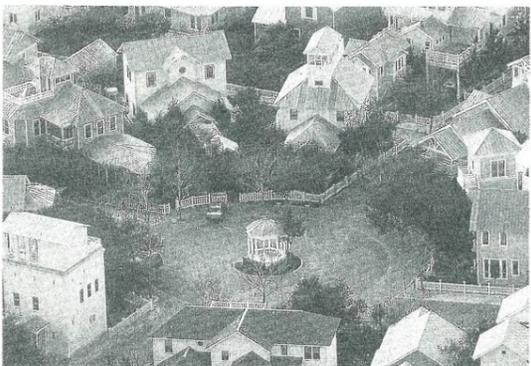
「不動産市場論」

那須大学ではこんな科目を学ぶ ③

「マーケティング・リサーチの基礎を学ぶ」
宮崎洋司教授



不動産市場論の講義では、土地利用の外部性(注1)や地価の需給調整機能の不全性(注2)等、不動産に特に顕著な完全競争市場(注3)を形成しづらい点、不動産の特性や、またその特徴である不動産市場の制度・公共計画間のダイナミックな相互関係等を併せて考察し、経済理論的側面から大局的な理解ができることを第一の目標とします。
次いで、こうした知識を実際に活用するにはマーケティング・リサーチが必要であり、このための調査方法や分析方法を紹介することで、都市・土地問題



写真の出典：川村健一・小門裕幸「サステイナブル・コミュニティ」
学芸出版社：1995年、76頁、図2.22
(原典：Courtesy of Alex S.MacLean/Landslides)

への関心を深め、あるいは最近注目の不動産の証券化等に関わるコンサルタント関連職業に進出する学生が増えることを期待しています。
編集注釈
① 土地利用の効果が市場を過ぎずに当事者以外に及ぶこと。
② 土地の希少性のため需給均衡となるように地価が形成されないこと。
③ 売り手も買い手も価格を変える力を持たない状態にある市場。



異種文化交流の祭典!

第2回

那須大学 大学祭

開催されました!

平成12年10月28日(土)、29日(日)

木々の色づきはじめた秋の那須高原の中、2回目の大学祭が開催されました。テーマは「異種文化交流の祭典」。老若男女・地域の枠を超えた「お祭り」をイメージして、昨年にもまして各種のイベントや都市講演会、学術展などの展示、留学生スピーチ、模擬店、ライブなど、おおいに盛り上がりました。

■模擬店—大学祭の花—
大学祭といえば模擬店。焼きそば、甘味茶屋などから、留学生による韓国料理や中華料理、インド料理など、那須大学ならではの「異種文化交流」がここに見られました。

■聞いてください、私たちの「日本語」を
「日本で見たこと考えたこと」をテーマとした留学生による日本語スピーチコンテスト。各人が学んだ日本語を精一杯駆使してスピーチを行いました。

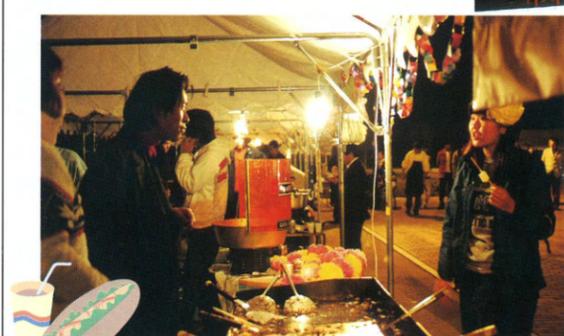


■芸術展覧会



四川料理

■インターネットとカラオケが合体
那須大学自慢のコンピュータを駆使したインターネットカラオケ。参加は飛び入りで、ステージは超モリアガリ。



今年もどうぞお出てください!

■お隣の国から、アンニョン・ハシムニカ
韓国からの留学生が演奏したのが、伝統音楽「ウリンリ」。こんな音楽に大学祭でお目にかかるのも、那須大学ならではの。



■キャンパスに響いた、勇壮な太鼓
中夜際のオープニングを飾った巻狩太鼓。赤松に囲まれたキャンパスに勇壮に響きました。

黒磯巻狩太鼓の紹介
起源は、源頼朝が行った那須野ヶ原での狩り
黒磯巻狩太鼓会長 安宅 勝
一九九三年、源頼朝は那須野ヶ原一帯で大規模な狩りを行いました。その史実にもとづき平成二年に黒磯巻狩太鼓は創作されました。
黒磯巻狩太鼓の特徴は二つあります。ひとつは構成員です。現在六四名の会員がおり、小中学生が半数を占めています。演奏においては、つねに子供、大人の女性、男性で構成されます。
もうひとつは、太鼓の曲です。現在六曲を持っており、いずれも古くから各地に残っている曲と異なり、太鼓による交響曲の形式になっています。いままで、一五五回のイベントに参加しております。
これからは、子供達を主体として太鼓の普及、伝承に頑張っております。